

研究に関するお知らせ

研究の名称

術中希釈式自己血輸血に関連した白血球のアポトーシス発生と血栓形成に関する観察研究

国立研究開発法人 国立国際医療研究センター国府台病院 麻酔科では、以下にご説明する研究を行います。この研究への参加を希望されない場合には、研究不参加とさせていただきますので、下記のお問い合わせ先にお申し出ください。

■研究目的・方法

ヒトの血液中に存在する白血球のひとつである単球は、生体への様々な刺激により形態変化を起こします。一定の強い刺激が加わると単球はアポトーシスと呼ばれる変化を起こし、その際にきわめて小さい細胞の破片（マイクロパーティクル）を放出します。当研究グループでは、単球によるマイクロパーティクル発生のメカニズムやその発生を抑える方法について、ヒト単球に由来し無限に増え続ける細胞（セルラインと言います）を用いて研究を行ってきました。特に現在、単球由来のマイクロパーティクルによって発生する血栓症が、輸血に関連して発生する有害事象（いわゆる副反応）のひとつではないかと考え研究を計画しています。今回、当グループがこれまで培養細胞をもちいて観察してきた現象が健常成人の血液においても観察できることを確認する目的で、研究用に少量の血液をご提供いただきたいと考えております。

■研究期間

理事長承認日～2024年3月31日

■研究の対象となる方

理事長承認日から2022年3月31日の期間に国立国際医療研究センター国府台病院手術室において麻酔科医が静脈ルート確保（点滴）を行って手術を受けられるすべての患者さん。

■研究に用いる試料・情報の種類

研究用試料として、静脈穿刺の際に血液20mlを採血いたします。また上記の対象期間中に電子診療録に記録された診療記録のほか麻酔記録などの情報を収集します。

■研究計画書等の入手・閲覧方法・手続き等

あなたのご希望により、この研究に参加してくださった方々の個人情報の保護や、この研究の独創性の確保に支障がない範囲で、この研究の計画書や研究の方法に関する資料をご覧いただくことや文書でお渡することができます。ご希望される方は、記載のお問合せ先にお申し出ください。）

■個人情報の開示に係る手続きについて

本研究で収集させていただいたご自身の情報を当院の規定に則った形でご覧頂くことも出来ます。ご希望される方は、どうぞ記載のお問合せ先にお申し出ください。

■研究責任者：

国立研究開発法人 国立国際医療研究センター国府台病院 麻酔科 東 俊 晴

■お問い合わせ先

国立研究開発法人 国立国際医療研究センター  
所属・役職： 国府台病院麻酔科・診療科長  
氏名： 東 俊 晴  
電話番号： 047-372-3501（代表）  
受付日時： 9:00 ～ 17:00 （月曜日 ～ 金曜日）